第５学年西組　道徳科学習指導案

「友達とよりよい関係を築くために大切なこと」

学習指導者　藤川　裕人

１　学級（34名）の実態

（１）共に学びを進め合うことに関する学級の実態

質問紙調査において、道徳科の授業で「生活に生かせそうなことを考えている」子供は26名いる。実際の授業では、「大切だと思ったこと」「生活に生かせそうなこと」の視点で振り返り、道徳的価値の理解を深められている子供が多い。しかし、そこから自己の生活とのつながりについて、「〜の場面で、自分なら○○していきたい」などと具体的に書けている子供は15名と少ない。また、振り返る際に、振り返った子供たち同士で考えを比べている姿や、考えがもてない時に子供たち同士で交流する様相はあまり見られない。

（２）本単元の学習に関する学級の実態

質問紙調査では、「クラス全員のことを大切にしている」と、全員の子供が肯定的に回答した。実際の様子を見ても、困っている友達がいると優しく声をかけたり、掃除や係活動で互いに助け合ったりするなど、友達を思いやり、大切にしている様子が伺える。一方で、友達関係の悩みについて問うと、「友達と意見が違うときに、本音を言わずに、周りに合わせてしまったことがある」と回答した子供は26名、「男女間での意見がすれ違って、モヤモヤしたことがある」と回答した子供は24名、「友達を決めつけてしまったことがある」と回答した子供は19名であった。

２　本単元で目指す「共に学びを進め合う子供」の姿と習得を目指す「振り返る」方法

課題設定　目標と今の自分を比べ、必要性の高いものを選んで、目当てを設定していく。③時では、「前の時間は『友達に本音を伝えることの大切さ』について勉強したから、今日は次に悩んでいる人が多い『男女の関わり方』について勉強したい」と必要性の高いものを選び、目当てを設定する。

解決の見通し　これまでに学習したことの中から同じように使えそうなものを考えて解決の見通しをもつ。④時では、目当てを解決するためにこれまでの学習で見付けた「道徳科の学び方のポイント」を見て、「前の時間、Ａさんの考えを聞いて、意地を張るのではなく相手のよいところに目を向けることが大切だと気付けたから、『友達の考えを聞く・比べる』を意識して勉強したいな」などとこれまでの学習の中で使って良かった学び方のポイントの中から本時の学習で使えそうなものを選び、解決の見通しをもつ。

解決　複数の考えを比べることで、友達とよりよい関係を築く上で大切なことについて考えを深めていく。②時で友達とよりよい関係を築くために大切なことについて考える際には、「僕は、相手に嫌な思いをさせたくないから合わせることも、よりよい関係を築くために大切だと思うよ」「それも分かるけど、ただ合わせるだけじゃ相手のためにならないから、間違っている時は『よくないよ』と本音で伝える方がよりよい関係になれるんじゃないかな」「なるほど。相手のことを想うからこそ、だめなことはだめと伝えることが、本当のよりよい関係を築くために大切なんだね」などと、友達の考えと比べることで、友達との関わり方について多様に考え、道徳的諸価値についての理解を深めていく。

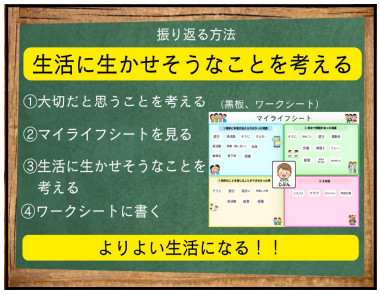
振り返り　**方法：「生活に生かせそうなことを考える」**

自分の生活場面の具体が書かれている「マイライフシート」を基に、「①本時大切だと思ったこと」「②生活に生かせそうなこと」「③学び方」を振り返る。②時では、「今日の授業で、友達とよりよい関係を築くために、時には相手のことを思って注意することが大切だと分かったよ。これまでは、友達に嫌われるのが怖くて授業中に騒がしかった時は注意できなかったけど、これからは優しく注意していきたいな」などとこれからの自己の生き方について考えを見つめ直していく。また、「Ａさんの『友達のために勇気を出して行動することが大切』という考えを聞いて、自分の生活に生かしたいと思ったよ」などと友達と関わってよかったことを共有することで、協働のよさを感じていく。

3　達成意欲を高める目標共有の工夫　①時

友達を思いやって助け合ったり、みんなで楽しく過ごしたりしている日常の写真を見せることで、自分たちが友達を大切にできていることを実感できるようにする。そして、「今後、友達とどんな関係を築いていきたいですか」と問うことで、よりよい関係を築いていくことの必要感や、よりよい関係の具体を共有する。その後、質問紙調査の結果を提示することで、全員が友達のことを大切にしていると思っているものの、「友達と意見が違うときに、本音を言わずに、周りに合わせてしまったことがある」「男女間での意見がすれ違って、モヤモヤしたことがある」「友達を決めつけてしまったことがある」といった相手目線とのズレがあることを共有する。その上で、教科書の友達関係に悩む登場人物を紹介することで、「登場人物たちの悩みを手がかりに、友達と関わる時に大切なことを考えたい」などと思いを高め、「友達とよりよい関係を築くために大切なことを考えよう」という単元の目標を設定する。

4　単元計画と方法の習得の段階に合わせた手立て（本時　4／5）

次	単元計画	方法の習得の段階に合わせた手立て
一	**①学活　友達との関わりについて考えよう** 単元の目標を設定後、質問紙調査で悩んでいる人数が多かったものから順番に学んでいき、最後にはよりよい友達との関わり方として取り組みたいことを決めるという学習計画を立てる。その後、これからの学習に向けて、事前読みを行い、登場人物や教材の問題場面などについて捉える。	**【認知段階】** これまでの学習で、振り返りの際に、本時の学習を思い出して「生活に生かせそうなことを考える」という「振り返る」方法を教示している。また、生活に生かせそうなことを考えることで、学んだことを自分の生活に結び付け、よりよい生活にできるというよさがあることも共有している。
二	**②　本音を伝えるために大切なことを考えよう** **～「ひみつのグループトーク」【B：友情、信頼】～** 周りに合わせて同調した主人公の葛藤について自分ならどうするか考えたり、本音を伝えることの難しさや意義について考えたりすることを通して、本音を伝えるためには、相手の立場に立ったり、相手のことを考えたりすることが大切なことに気付き、これからの自分の生き方を見つめ直す。 **③　男女で上手く関わるために大切なことを考えよう** **～「古いバケツ」【B：友情、信頼】～** 教材文の掃除のトラブルでぶつかり合う男女の気持ちや、全員掃除をし始めた理由について話し合ったり、互いの立場を尊重した関わり方について考えたりすることを通して、性別にとらわれず互いのよさや努力を素直に認め合い、力を合わせることが大切であることに気付き、これからの自分の生き方を見つめ直す。 **④　お互いに信じ合うために大切なことを考えよう** **～「友のしょう像画」【B：友情、信頼】～** 手紙が来なくなった正一に対して決めつけてしまった時や、完成した肖像画を見た時の和也の気持ちについて話し合うことや、絵を描き続けた正一の気持ちを想像することを通して、お互いを信じ合うためには、目先の状況だけで相手を疑うのではなく、これまでの相手の行動を思い出し、相手を信じて深く思いやることが大切であることに気付き、これからの自分の生き方を見つめ直す。	**【想起段階】** 「振り返りの時間です」と場面の切り替わりを伝えることで、「振り返る」方法を想起できるようにする。その際、方法を掲示しておくことで、方法を想起しやすくする。方法の想起がしづらい子供に対しては、個別に掲示物を指差しながら「何を振り返るとよかったかな」などと想起を促す問い掛けをしたり、方法を使っている子供に注目を促したりすることで、方法を想起できるようにする。  【方法に関する掲示物】
三	**⑤学活　友達とよりよい関係を築くために、自分にできることを考えよう** 三つの教材で捉えた友達とよりよい関係を築くために大切なことを振り返る。その後、教室での関わりやSNSでのやり取り等、マイライフシートを見ながら、生活の様々な場面を思い出し、よりよい関係を築くためにどのような行動をとっていくとよいかを考えて決める。授業後は、決めたことを実際の生活で実践し、その取組を振り返る。	

5　本時の学習

ねらい	互いに信頼し合える本当の友達関係や、友情を育むために必要な行動について考えを深めていくことで、信じ合うためには目の前の状況だけで判断するのではなく、相手を信じ続けることが大切であることに気付き、それを実践していこうとする態度を養う。

学習活動	主な子供の意識
1　前時の学習を振り返り、本時の目当てを設定する。	友達とよりよい関係を築くために大切なことを考えていたよ。 本音を伝えるためには、相手の立場に立ったり、相手のことを思ったりすることが大切だと分かったよ。 男女の関係をよくするには、性別関係なく、互いのよさに気付いて協力し合うことが大切だと分かったよ。 まだ「信じ合うために大切なこと」が解決していないよ。 **お互いに信じ合うために大切なことを考えよう**
2　解決の見通しをもつ。	A今日も「友達の考えを聞く・比べる」を使うよ。今までの勉強で友達の考えを聞くと、新しい考えに気付けたからだよ。 Bそれはいいね。私は、「似たような経験があるか考える」にするよ。普段の自分たちのクラスの様子と比べながら考えた方が、大切なことを見付けることができると思ったからだよ。
3　「友のしょう像画」を見たときの和也の気持ちを想像する。 （1）個人または自由交流 （2）全体交流	A返事が来なくて疑ってしまったけど、自分のために一生懸命彫ってくれていたと知って、申し訳なさと嬉しさでいっぱいだと思う。 B返事がないことだけで疑わず、これまで一緒に過ごしてきた正一のことをもっと信じればよかったと後悔したんじゃないかな。 A確かにそうだね。正一を信じきれなかった自分を恥ずかしく思いつつも、届いた絵から正一の変わらない友情を感じて嬉しかったと思うな。正一は和也のことをずっと思っていたから彫り続けたと思うよ。
4　信じ合うために大切なことを話し合う。 （1）個人または自由交流 （2）全体交流	A僕は、普段から相手のことを思った行動を続けることが大切だと思う。行動を続けることで信頼がうまれると思うからだよ。 B変だなと思っても決めつけないことが大切だと思う。私も掃除に行くのが遅くなった時、決めつけられてつらい思いをしたことがあるからだよ。 Cなるほど。私は、友達を信じるだけでなく自分も裏切らないでいることが大切だと思う。理由は、自分が友達のことを裏切るような行動をとると、友達が自分のことを信頼しなくなるからだと思うよ。
5　本時の学習を振り返る。	A信じ合うためには、決めつけで疑ってしまわないことが大切だと分かったよ。遊ぶ約束の時間に友達が来なかった時は、慌てずに信じて待ちたいな。 B確かに。喧嘩や行き違いがあった時も、相手の立場を考えるのが大事だよね。私も状況だけで勝手に決めつけず、相手を信頼したいな。 次の時間は、他の場面でどうするか考える時間だね。今までに見付けてきた大切なことを使って、どんな行動をとるか考えたいな。

評価	互いに信じ合える本当の友達関係や、信頼を育むために必要な行動について考えを深めていくことで、信じ合うために大切なことを多様に捉えている。また、マイライフシートを基に、生活に生かせそうなことを見付けている。　【方法：発言、様相、ワークシート】

６　本時の詳細（＿＿は、共調整を促す手立て）

～　課題設定　～　学習活動１

補助黒板には、単元の目標と学習計画を掲示しておき、既習をいつでも参照できるようにしておく。本時では、学習計画や既習のワークシートを基に、単元の目標やこれまでの学習で捉えてきたことを確認する。その後「まだ解決していないことは何ですか」と問いかけることで、信じ合うために大切なことを考えたいという目的意識を表出し、本時の目当てを設定する。

～解決の見通し～　学習活動２

「道徳科の学び方のポイント」を基に、本時で特に意識したい学び方（「似たような経験があるか考える」「友達の考えを聞く・比べる」など）を表出する場を設ける。その際、目当てについて考える際に有効な学び方や、前時の振り返りを基に今回使えそうな学び方を選べるよう促す。さらに、友達と話し合ってもよいことを共通理解しておくことで、特に大切にしたい学び方を選択しやすくする。



【道徳科の学び方のポイント】

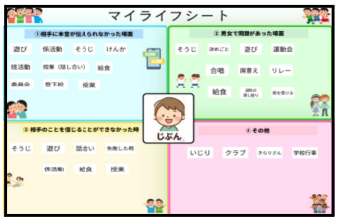
その後、学び方を選んだ理由を全体で共有する中で、前時の振り返りや本時の目当てを意識して選択している子供を意図的に指名し、価値付けることで、見通しをもつよさを実感できるようにする。

～　解　　決　～　学習活動３・４

学習活動３では、教材の状況を確認し、手紙を送らなくなった時の和也の気持ちを確かめた後、肖像画を見た時の和也の気持ちを想像する。自由交流の際、子供の考えを見取り、考えが違う子供同士での交流を促すことで、和也の心情を単一の感情で終わらせず、複雑な葛藤として多様に捉えることができるようにする。全体共有では、ずっと彫り続けてくれた嬉しい気持ちもある反面、相手を信じられずに疑ってしまったことへの後悔があったことを共有する。また、「どうして正一は病気と戦っている間も和也をテーマに一年間もかけて絵を彫ったのかな」「正一は和也からの返事がなかったのに、どうして和也のことをずっと思い続けられたのかな」等と問い返すことで、正一は一年間も和也のことを想い、和也が友達であると信じ続けたことや、これまでの和也の関わりが正一の信じる心に繋がったことを捉えられるようにする。学習活動４では、学習活動３での学びを基に、友達と信じ合うために大切なことを考える。その際、クラゲチャートの中心に、「信じ合うために大切なこと」と書き、その理由や異なる立場・状況、友達の考えなどを関連付けて記述することで、自分の考えを多面的・多角的に捉えることができるようにする。さらに、特に大切だと思う考えに印を付けて、学習支援アプリで共有することで、自他の考えの違いを把握できるようにし、目的意識をもって関わる相手を選び、より自分が納得できる考えを見付けられるようにする。全体交流では、信頼に関する意見を意図的に取り上げ、「相手の行動の理由や本当の気持ちを想像すること」や「ごまかさずに、自分の本当の思いを素直に伝えること」など、信頼関係をつくるために大切にしたいことを捉える。

～　振り返り　～　学習活動５

単元を通して、１枚のワークシートに「①本時大切だと思ったこと」「②生活に生かせそうなこと」「③学び方」の三つの観点で振り返りを行っている。本時では「振り返りの時間です」と場面の切り替わりを伝えることで、方法を想起できるようにする。その際、自分の生活の具体が書かれている「マイライフシート」の中から、本時の学びと繋がる場面を見付けることで、方法を使いやすくする。全体交流では、数名の子供に発表を促す。



【マイライフシート】

その際、生活に生かせそうなことの考えを意図的に取り上げ、「生活に生かせそうなことを考えたから、よりよい生活になるために自分にできることを見付けられたね」と価値付けをすることで、これからの生活に生かしていけるという方法のよさを感じられるようにする。さらに、「友達の考えを聞く・比べる」にチェックしている子供に対して、その学び方をしてよかったことは何かを問いかけることで、協働のよさを実感できるようにする。最後に、次時にすることを確認することで、「他の場面で友達とよりよい関係を築くために大切なことを考えたい」などと次時への見通しをもてるようにする。